

vol. 19 【さすが？ 好循環！】

3月5日は24節気のひとつ「啓蟄」です。いよいよ春になり虫たちも顔を出し始めます。今川公園の竹藪は2月に間伐を終えて、すっきりとしています。その地下では多くのタケノコたちが芽を伸ばす準備を始めていることでしょうか。今年の冬はとても寒い日が多く、もしかするとまだ眠っているかもしれません。でも、あとひと月もすればニョキニョキと伸びはじめて、竹藪の新たな主役になってしまいます。代わりに古い竹は役目を終えて伐採され、竹垣やいろいろな道具・飾りなどに利用されます。

いま、竹藪の隅に伐採した竹の枝（竹穂）が出番を待っています。写真のように積んでおくと自然に葉が落ちて竹穂垣や竹箒などの材料になります。今川公園で使用された竹は役目が終わると、竹藪に戻されてゆっくりと寝かされやがて土に戻ります。

また、竹藪の外を見ると去年の落ち葉を堆積した山があり、中のほうで虫や微生物の力で腐葉土に変わり始めています。その中には卵から孵化した幼虫たちがたくさんいるはずで、夏になれば「クワガタやカブトムシ」になって出てくるでしょう。虫たちがいなくなる頃には、熟成した腐葉土となり、畑や花壇に混ぜ入れれば素敵な花や野菜をたくさん育ててくれます。



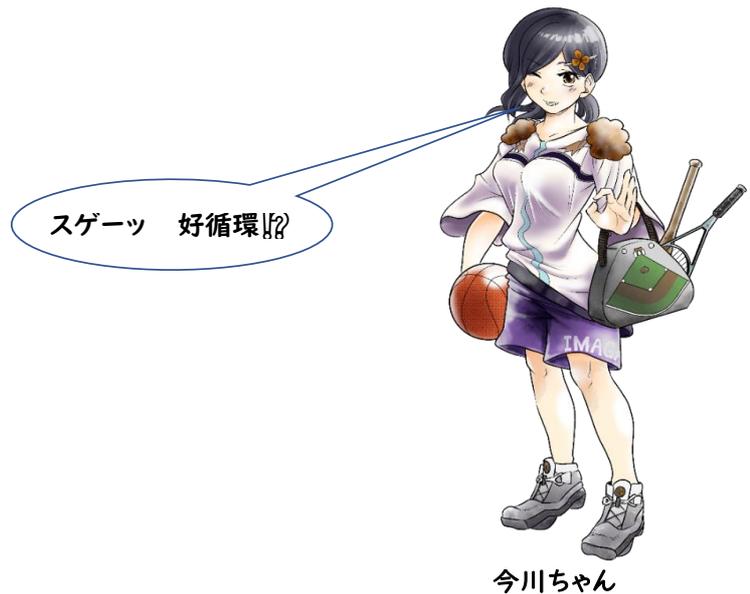
竹 藪



竹 穂



竹 穂



スゲーッ 好循環!?

今川ちゃん



落ち葉の山